難波宮関係年表

時代	天皇	遺跡	年号	出来事
古墳		法円坂遺跡 難波宮下層遺跡	5世紀前半	法円坂倉庫群が建てられる
飛鳥時代			6～7世紀	舘（むろつみ）・大郡（おおごおり）・小郡（おごおり）
	皇極	前期難波宮	大化元年(645)	乙巳（いっし）の変(蘇我本宗家滅亡) 難波に都を遷す
	孝徳		大化二年(646)	大化改新の詔を発布
			白雉元年(650)頃	難波長柄豊碕宮（なにわながらとよさきのみや）(前期難波宮)の造営開始
			白雉三年(652)	難波長柄豊碕宮完成
			白雉四年(653)	中大兄皇子ら飛鳥に還る
			白雉五年(654)	孝徳（こうとく）天皇、死去 都が飛鳥へ還る
	天武		天武十二年(683)	複都制の詔
			朱鳥元年(686)	「大蔵省」より失火、 難波宮が焼失
	持統		持統八年(694)	藤原京へ遷都
奈良時代	元明	後期難波宮	和銅三年(710)	平城京へ遷都
	聖武		神亀三年(726)	難波宮再建開始（後期難波宮）
			天平四年(732)頃	難波宮の中枢部がこの頃完成
			天平十六年(744)	難波宮が「皇都」となる
	孝謙		天平勝宝八歳(756)	孝謙（こうけん）天皇が難波宮の 「東南新宮」へ入る
	桓武		延暦三年(784)	長岡京へ遷都 後期難波宮を解体移築
			延暦十二年(793)	難波宮を停止
平安			延暦十三年(794)	平安京へ遷都



発掘中の古墳時代大型倉庫群



百済土器



発掘中の水利施設



前期難波宮 水利施設出土遺物



後期難波宮の重圏文軒丸瓦

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History
〒540-0008　大阪市中央区大手前４丁目１番32号
TEL.06 - 6946 - 5728　FAX.06 - 6946 - 2662

2026年3月改訂

なにわのみや
難波宮を歩いてみよう
―古墳時代大型倉庫群と前期・後期難波宮―

大阪市中央区法円坂（ほうえんざか）で難波宮跡の発掘調査が始まったのは昭和29年（1954）のことです。半世紀以上の調査・研究の結果、ここに飛鳥時代と奈良時代のふたつの時期の宮殿跡があることがわかりました。

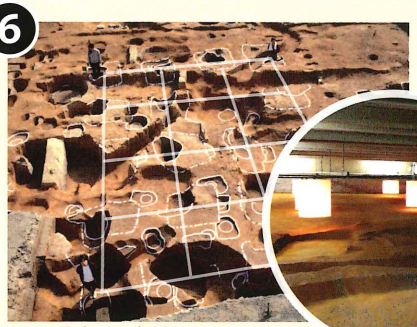
飛鳥時代の宮殿は、７世紀中頃に孝徳（こうとく）天皇によって造られた「難波長柄豊碕宮（なにわながらとよさきのみや）」（前期難波宮）と考えられます。奈良時代の宮殿は、８世紀前半に聖武（しょうむ）天皇によって造られました（後期難波宮）。



－古墳時代の大型倉庫群と前期難波宮の内裏西方官衙－



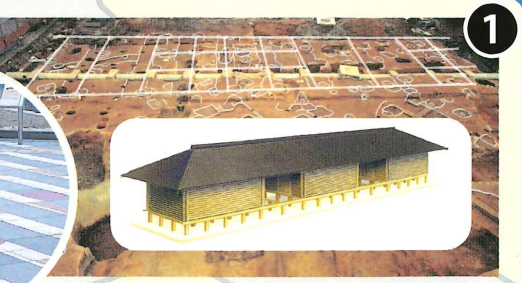
⑤ 発掘中の石組み水路



⑥ 西方官衙の倉庫



塀と倉庫群の復元イメージ

① 発掘中の「並び倉」と遺構表示・復元イメージ



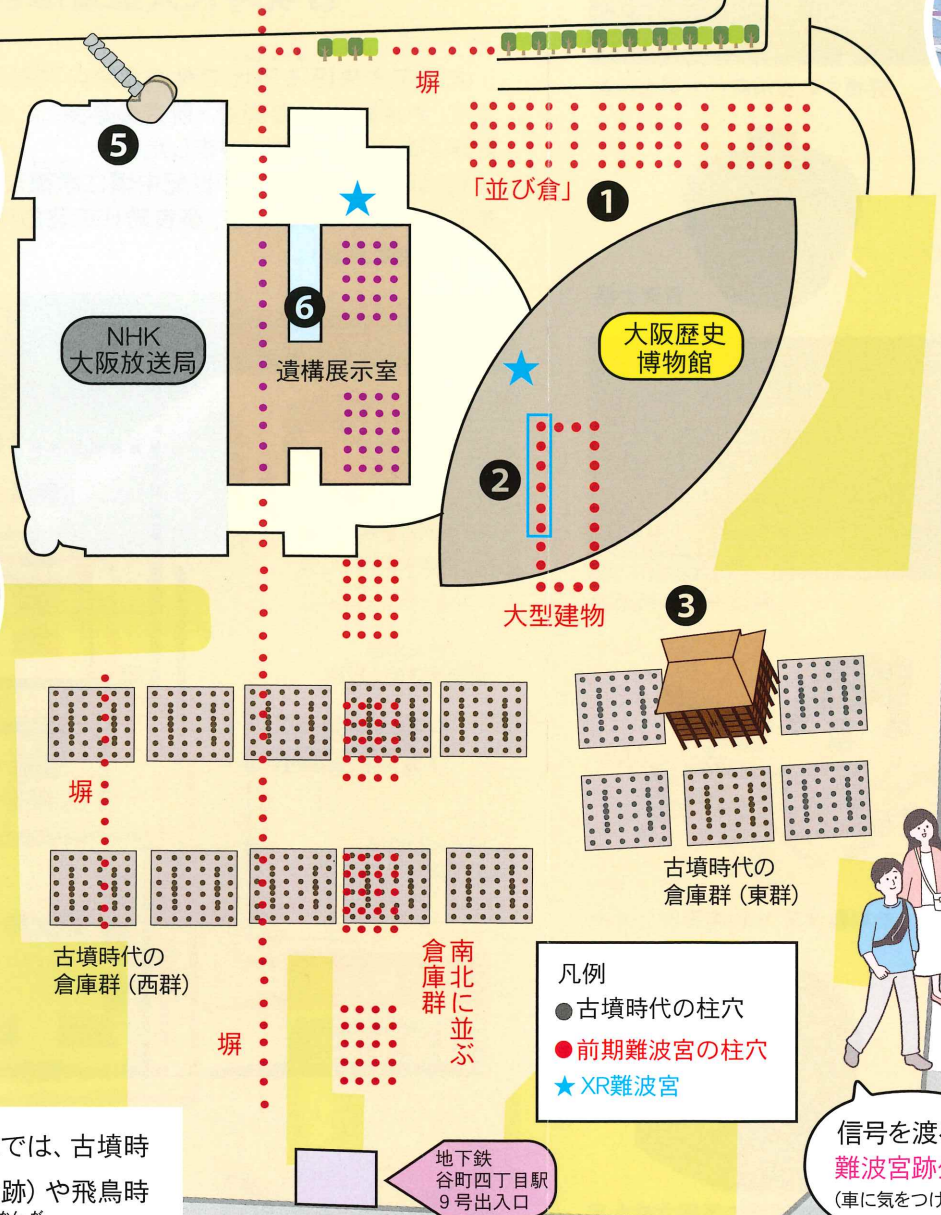

② 発掘中の大型建物と展示施設



③ 復元された古墳時代の大型倉庫



④ 博物館 10 階から見た難波宮跡公園



大阪歴史博物館・NHK大阪放送局の敷地では、古墳時代中期（5世紀前半）の大型倉庫群（法円坂遺跡）や飛鳥時代（7世紀中頃～後半）の前期難波宮内裏西方官衙など大阪の古代史を考える上で重要な遺跡が見つかりました。